

オオキトンボの里づくりプロジェクト

つづける助成

2年目

調査研究

現地調査 71日

オオキトンボ観察会参加者 122人

今年度計画の達成度 80%

目標達成度 65%



10月、河野小3年生が産卵の様子を観察

課題

松山市北条地域には希少種・オオキトンボが生息するため池が点在するが、住民にほとんど存在が知られていない。一方で、ため池改修工事が進行中で、早急に保全の提案が必要。

目標

ため池の水管理等によって生じる環境変化と本種の生活史との関係を調査により解明し、地域の関心を高め、住民、学校、行政、専門家などとの協働による保全につなげる。

活動内容と成果

本種発生が最多の河野地区において、羽化個体数、発生消長、産卵、ねぐら調査など、多角的な調査を行いデータを蓄積した。本年は発生数が少なく、要因に他のトンボ類の種数・個体数の増加、梅雨明け後の高温、ため池の部分改修などが挙げられた。それぞれの動向に着目して調査を継続する。

河野小での授業、児童館の観察会、高校生生物部との調査など、教育施設との連携を促進した。文化祭や祭りに出展し、住民の認知度向上を図った。ため池管理者への調査内容の説明、草刈り作業への参加、報告会の開催を行い、相互の理解を深めた。



7月、高校生生物部が羽化直後成虫の調査

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

本年度は本種の発生が前年の約2割と極端に少なく、一部調査の規模を縮小した。減少には多数の要因が挙げられるが特定は困難。

■ 工夫した点

住民に本種を知ってもらうために、地区文化祭での発表やイベントなどに出展するなど、住民が集まる機会での発信を心がけた。

活動地域 |  愛媛県松山市

〒790-0827
愛媛県松山市鉄砲町1-7
電話：089-992-9152
E-mail：info@morimichi.org
http://morimichi.org/



今後の
展望

月刊「オオキくん通信」を1月より制作、7小学校、2中学校、公民館等に配布し、本種と里地の生き物の認知度向上を目指す。新年度発足するまちづくり協議会に本種の保全活動を提案し、持続的な展開につなげる。

